

FUKUOKA UNIVERSITY FACULTY GUIDEBOOK

経済学部

Faculty of Economics

- 経済学科
- 産業経済学科



FUKUOKA UNIVERSITY

入学センター

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL: 092-871-6631 (代)



経済学部
ウェブサイト



キャンパス
マップ

福岡大学
学部ガイド2026

Micro & Macro

毎日の買い物から世界の動きまで。
経済学とは現在と対話すること、
将来を予測すること

経済学という科学的な学問

経済学はよく難しいと言われるようですが、なぜなのでしょう。おそらくそれは、経済の運営に多くの困難が伴うことや金融などの諸制度が複雑であることが、学問としての経済学が難解であるということと混同されているためであると思われます。本来、経済学という学問は、他の文系の諸学問と比べても教科書がよく整えられ、科学的に積み上げられた構造を持っていますので、学習しやすく、また誰にでも修得可能なものなのです。

※本冊子に掲載している人物の情報は、2024年度取材時のものです。

目次	01
学部長メッセージ	02
学科紹介	02
経済学科	04
産業経済学科	06
科目ピックアップ	08
ゼミ紹介	10
経済学ってどんな学問？一特徴を二つ紹介	11
経済学部Q&A	12
キャリア・就職について	13
教員・研究の紹介	17
暮らしの中にある経済学	

▶ 経済学は理論的・演繹的！

経済学も人間の社会を対象にした学問の一つですが、社会、そして、経済といってもその範囲や規模は個人から見てとてつもなく大きなものです。ですから、経済学では、まず対象をどのように見るのかを、これまでの研究の蓄積から得た知恵で決めておかなければなりません。これが理論と呼ばれるものです。

経済学の理論体系には諸分野ありますが、大別するとミクロ経済学とマクロ経済学に分かれます。ミクロ経済学とは、その名のとおり、企業や家計など経済を構成する比較的小さな部分の行動から、経済全体を捉えていくという分野です。マクロ経済学は、個々の経済行動を国民経済単位でまとめて、主に経済の成長や変動を考察する分野です。

学部長メッセージ

経済学的知性と幅広い教養、豊かな人間性を身に付け、
常に学び続ける姿勢を持った人材を育成

経済学部長 渡邊 淳一 WATANABE Junichi



「経済学」は社会の病理を明らかにし、みんなが幸せになれるより良い社会をつくることを考えます。これが「経済学」の目指すところです。本学部には複雑な経済・社会の動態を理解し「経済学」を体系的に修得できるように、共通教育・基礎教育から専門教育まで、少人数授業を含む充実したカリキュラムを用意しています。経済学科では、2年次以降に3つのコースに分かれ、理論、政策、歴史などの視点から社会を深く掘り下げて考えることで、バランスの取れた幅広い経済の知識と経済学的な思考方法を身に付けます。一方、産業経済学科では、最先端のデータサイエンスから地域社会・地元企業の協力を得て行う課題解決型学習(PBL/Project Based Learning)まで、

能動的で専門的な実社会に直結した学びを体験できます。

本学部には海外で学位を取得した教員も多く、実務家教員を含め幅広い分野の教員が揃っています。私たち教員は、皆さんの知的好奇心を大切にし、皆さんが主体的に研究課題に取り組むことを支援しています。さまざまな教員や学友との「学び」を通して、異なる価値観や多角的な視点を理解し、社会に対する洞察力を養っていきましょう。

本学を卒業する際には、福岡大学経済学部に入學して良かったと、自らに誇りを持って次のステージに巣立ってくれることを願っています。



▶ 経済学は実証的・帰納的！

あらゆる学問の究極の目的は、人間の生活や社会に貢献し寄与することにあります。経済という私たちが生きていく上で基本となる分野を対象とする経済学では、そうした現実との対話が一層重要となります。

経済の分野には、金額や価格、数量で表された数値データがたくさんあります。経済学では、これらを収集し分析することで、データの背後に隠された内容や意味を考え、将来の予測などに役立てます。

また、理論の主張を、データを使って検証したりすることも経済学の研究には欠かせません。そのためにも、理論に基づき、社会や経済のあり方を単純な形で捉えておく必要があることが分かるでしょう。そうした単純化された表現を、経済学ではモデルと呼んでいるのです。

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー (AP) 〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー (CP) 〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー (DP) 〈学位授与の方針〉

経済学部の詳細は以下のQRコードから(公式ウェブサイト)

▼ AP



▼ CP



▼ DP





“生きた経済”を幅広く学習。

経済が原動力である現代社会を、強くしなやかに生き抜く能力を養う。

経済学科では、経済理論や経済史、財政・金融の現実的な諸問題、国際市場に関する科目はもとより、最新のコンピュータ解析技術から身近な家計経済に至るまで、広範囲に学習することができます。

その目標は“生きた経済”を学ぶ過程から視野を広げ、時代や社会を総合的に視る能力を養うことです。それは経済が動かしている現代社会を、強く確かに生き抜くために必要な能力であり、あらゆる企業・機関から“頼もしい存在”として求められる人材になることにつながります。

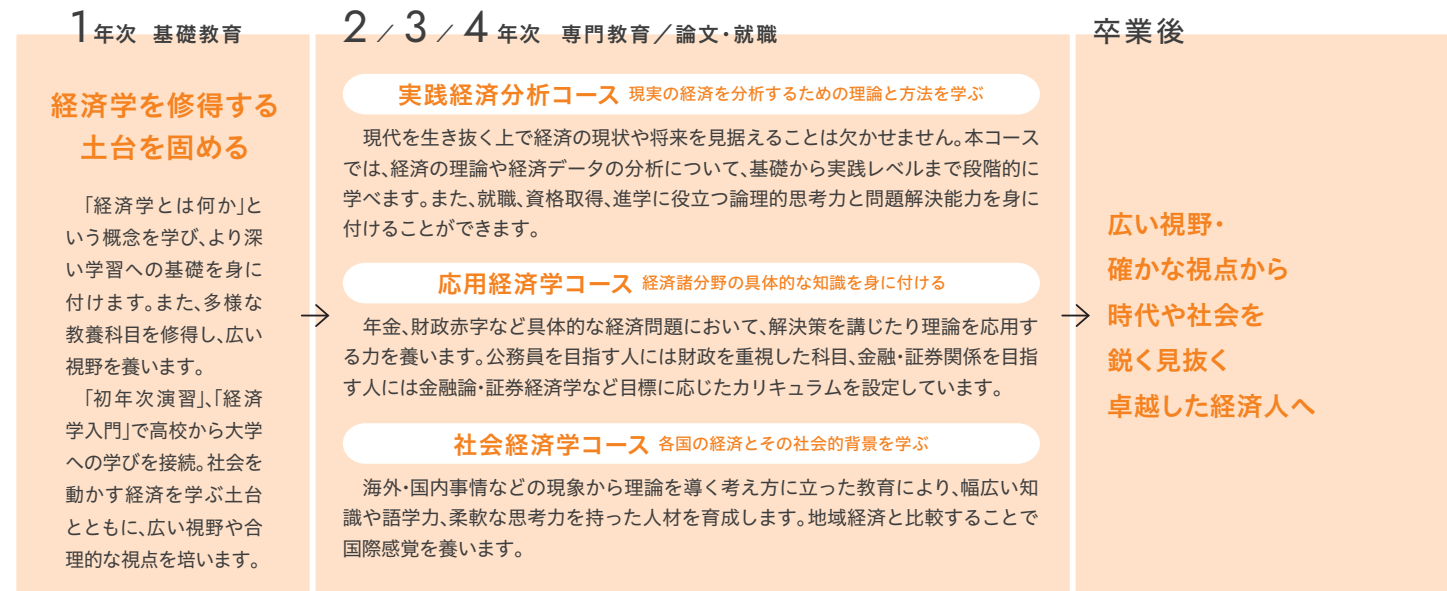
求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、経済学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B	技 能	学習や課外活動から得た経験に基づきながら、自らの意見を持ち、それを論理的に説明できる人
C	態度・志向性	健全な社会性を有し、経済学科で得た専門知識を社会のために活用したいと考えている人
D	その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
（求める能力）
の詳細は



経済学科での4年間



在学生の声
（『大学案内2026』）



学科
公式ウェブサイト



専門教育科目カリキュラム（2025年度入学生適用）

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次				
●ミクロ経済学		●マクロ経済学								
専門教育科目	コース別科目	実践経済分析 コース	△経済学史 A,B △経済数学 △経済統計論 △計量経済学	△厚生経済学 △実務経済論 A,B △統計学入門 A,B	△メカニズムデザイン A,B △開発経済学 △ミクロ経済分析 △マクロ経済分析	△ストックの経済学 △公共経済学 △環境経済学 △統計学	△計量経済分析 △数理経済学 △経済発展論 △情報経済学	△ゲーム理論 A,B △産業組織論 A,B △微分方程式 △最適化と制御		
		応用経済学 コース	△財政学 △金融論 △国際経済学	△経済政策 △労働経済学 △統計学入門 A,B	△国際マクロ経済学 △経済政策各論 A,B △証券経済学	△金融市場論 △労働経済学各論 A,B △日本財政論	△租税論 △地方財政論 △社会保障論	△国際金融論 △金融論各論 △国際貿易論	△統計学	
		社会経済学 コース	△社会科学概論 △経済史概論 △国際経済学概論 △外書講読 I	△社会経済学 △統計学入門 A,B	△発展途上国経済論 △東洋経済史 △西洋経済史 △日本経済史	△社会思想史 △地域研究 A,B △経済人類学 △国際経済学各論	△外書講読 II A △外書講読 II B △環境経済学 △統計学	△経済発展論 △労働経済学各論 A,B △日本財政論 △社会保障論	△国際金融論	
		ゼミナール	△初年次演習	△特別演習 I △基礎演習 A,B	△特別演習 II △演習 A,B	△演習 C、演習 D および論文				
	選択科目	△経済学入門 △日本経済論 A,B △経済思想史 A,B △情報社会と情報倫理 △経済学のための情報処理 △ベンチャー起業論 A,B,C,D △産業戦略論 A,B,C,D △英書講読 I A,IB	△情報社会と経済 A,B △経済学のための情報管理 △経済学のための情報通信 △経済学のための情報技術 △情報ビジネス入門 △情報と産業 △海外研究者特別講義 IA,IB,IC,ID	△英書講読 II A,II B △キャリアデザイン I △概説日本史 △概説外国史 △概説法律学 △概説政治学 △概説社会学	△時事経済論 △経済学ワークショップ A,B,C,D,E,F △経済学ジョイントコース A,B △海外研究者特別講義 II △キャリアデザイン II					
関連教育科目	△簿記原理 △経営入門 △経営学総論		△憲法 I,II △民法入門 △民法総則	△微分積分 △行列と行列式 △確率と統計	△会計学総論 △財務会計論 △交通経済入門 △交通経済論	△交際経済論 △保険論入門 △保険論 △概説哲学	△債権法 I,II △物権法 I,II △労働法	△債権法 III △行政法 I △企業取引法 △企業取引法	△会社法 I,II △企業取引判決法 △知的財産法	△経済法 △税法 I A,IB △知的財産法
	他学部の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める科目									

他大学の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める授業科目
他大学（短期大学を含む。）の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める科目

科目の詳細は
シラバスWeb版



取得可能（有利）な主な資格

☑ 中学校・高等学校教諭一種免許 ☑ 税理士 ☑ 行政書士 ☑ ファイナンシャル・プランナー など

卒業生の声

経済の知識に加え、重要な傾聴力と伝える力。
在学時に培ったプレゼン力が現在の仕事に直結。

現代社会における経済の影響に興味を持ち、得意だった数学を生かせる本学科に進学しました。さまざまな視点から経済について学べ、身近な家計経済から国際市場まで目を向けるので、入学してから興味・関心が拡大していきました。そして、地域社会に貢献できることや一人一人のお客さまのライフプランに密接に関われることに魅力を感じ、現在の仕事を選びました。担当する企業の社員の方々へ、より良い生活を送るための手段として保険をご案内するのが私の大きな役目です。

この仕事は傾聴力と分かりやすく伝える力が非常に重要になります。大学入学前の私は自分の考えを言葉にして表現するのが不得意でした。ゼミ活動を通して、毎回ローテーションでプレゼンをする機会があったことで、試行錯誤をしながら相手に伝わりやすい提案方法を模索することができました。その結果、少しずつ苦手を克服でき、現在では多くのお客さまと関わっています。



宮迫 佳乃子 さん（2024年卒業）
住友生命保険相互会社

産業経済学科

Department of Industrial Economics



調査・分析・実証を重視した実践的な経済理論と情報リテラシーを備えたビジネスエキスパートへ。

産業経済学科では、産業界において経済理論をどのように生かすかを考察するための調査・分析・実証を重視した、実践的な経済学を学びます。学内外での実習やフィールドワークも多く、コンピュータによる情報分析やデータベース構築といったスキルも修得します。これらの実践力や情報リテラシーは企業や組織が求めるものであり、本学科では、今後の産業界を活性化しうる、経済理論を備えたビジネスエキスパートを育成しています。

なお、産業経済学科では、プログラム制という、より選択の自由度の高いカリキュラムを適用しています。本カリキュラムでは、「起業家育成プログラム」と「地域イノベーションプログラム」という二つのプログラムを中心に専門性の高い教育を提供します。

求める人材像(求める能力)

A 知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学習しており、経済学および関連諸学を学ぶに十分な基礎学力を有している人
B 技能	学習や課外活動から得た経験に基づきながら、自らの意見を持ち、それを論理的に説明できる人
C 態度・志向性	健全な社会性を有し、産業経済学科で得た専門知識を社会のために活用したいと考えている人
D その他の能力・資質	自己研鑽により、英語の資格を取得した人やスポーツ活動・競技会等で顕著な成績をおさめた人

求める人材像
(求める能力)
の詳細は



産業経済学科での4年間

1 年次 基礎教育	2 / 3 / 4 年次 専門教育 / 論文・就職	卒業後
産業と経済を学ぶ基礎を固める 「経済学とは何か」という概念を学び、より深い学習への基礎を身に付けます。また、多様な教養科目を修得し、広い視野を養います。 「初年次演習」、「経済学入門」で高校から大学への学びを接続。産業と経済を学ぶ基礎力をつけます。	地域イノベーションプログラム 将来は、情報処理の専門知識を生かした分野に このプログラムでは、地域や企業が抱える問題を発見・定式化し、その解決策を提案できる人材を育成します。企業や自治体との共同研究やフィールド調査からなる科目を体系的に設置することで、データサイエンスを修得し、新しい仮説の発見・検証のプロセスを学習します。これにより、データや理論等、根拠に基づいた科学的・政策的思考能力を持ち、地域を牽引する人材を輩出していきます。 起業家育成プログラム 将来は、組織におけるリーダーや起業家に このプログラムでは起業という視点から人生に対する積極性と実践的問題解決能力を身に付けた人材を育成していきます。そのために、このプログラムには戦略的思考能力を身に付けるための理論的な科目と実学的なベンチャー起業論関連科目が有機的に配置されています。学生は数理的・統計的な知識とコンピュータの技能を修得しつつ、成功した企業経営者による授業から夢を持ち、それに挑戦する意識を醸成していきます。	産業界を活性化 する経済理論と 実践の エキスパートへ

在学生の声
（『大学案内2026』）



学科
公式ウェブサイト



専門教育科目カリキュラム (2025年度入学生適用) ●必修科目 ▲選択科目

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
専門教育科目	●情報技術入門 ●ミクロ経済学 ●基礎数理入門			
	選択科目 A 類 ▲ベンチャー起業論 A,B,C,D ▲産業戦略論 A,B,C,D ▲地域イノベーション入門 ▲地域イノベーション演習 A,B,C,D,E,F,G	▲マクロ経済学 ▲起業戦略論 A,B ▲情報と産業 ▲意思決定理論 A,B ▲コーポレートファイナンス A,B ▲実践ビジネス英語 A,B	▲経済学のための解析入門 ▲経済学のための線形代数入門 ▲統計学入門 A,B ▲データサイエンス A,B ▲社会調査入門 ▲情報ビジネス入門	▲インターネットビジネス ▲フィールド研究 A,B,C,D ▲情報システム演習 A,B ▲産業組織論 A,B ▲戦略の経済学 A,B ▲九州経済論 A,B ▲人間関係論 A,B ▲ゲーム理論 A,B ▲ベンチャーワークショップ A,B ▲統計学
	ナゼミ ▲初年次演習	▲基礎演習 I, II	▲演習 A,B ▲演習および論文	
	選択科目 B 類 ▲経済学入門 ▲日本経済論 A,B ▲経済思想史 A,B ▲情報社会と情報倫理 ▲英書講読 IA, IB	▲特別演習 I ▲英書講読 II A, II B ▲情報社会と経済 A,B ▲海外研究者特別講義 IA, IB, IC, ID	▲キャリアデザイン I ▲概説日本史 ▲概説外国史 ▲概説法律学 ▲概説政治学	▲特別演習 II ▲時事経済論 ▲経済学ワークショップ A,B,C,D,E,F ▲経済学ジョイントコース A,B ▲海外研究者特別講義 II ▲キャリアデザイン II ▲東洋経済史 ▲西洋経済史 ▲日本経済史
関連教育科目	▲簿記原理 ▲経営入門 ▲経営学総論 ▲憲法 I, II	▲民法入門 ▲民法総則 ▲微分積分 ▲行列と行列式 ▲確率と統計	▲会計学総論 ▲財務会計論 ▲交通経済入門 ▲交通経済論 ▲保険論入門	▲債権法 III ▲行政法 I ▲労働法 ▲会社法 I, II ▲企業取引決済法
	他大学の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める授業科目 他大学(短期大学を含む。)の授業科目のうち経済学部教授会が適当と認める科目			

科目の詳細 >
シラバス Web 版 >



取得可能(有利)な主な資格

☑ 中学校・高等学校教諭一種免許 ☑ 社会調査士 など

卒業生の声

プログラミングを通して地域を見つめる。
在学時に気付いた経済×ITの重要性。

実際に地域に出向くフィールドワーク以外にも、情報分析やデータベース構築といったデータサイエンスを修得する実践的なプログラムが充実しているのが本学科の魅力です。在学中、データ分析を学び、経済に関する書籍に触れるうちに「経済とITには重要な関係がある」と感じ、IT業界を志しました。現在は情報システム部に所属し、業務の自動化やITインフラの整備、システムの導入や保守・運用まで幅広い業務に携わっています。人口減少が進む日本で円滑に事業を行うためには、ITを活用した業務の自動化・効率化が急務だと、日々感じます。また、仕事で重要なのは、課題の原因や対策について仮説を立てて考える能力です。こうした考え方は、大学時代にエビデンス(根拠)を武器に地域を動かす力を育むプログラムで学んだプログラミングの構文や分析手法を通して養うことができました。「経済活動にはITが不可欠だ」という大学での学びは、社会に出てからとても実感しています。



中山 琢斗 さん (2021年卒業)
ミドリ安全株式会社

科目ピックアップ

経済学科

経済学史 A,B

皆さん、アダム・スミスの名はよくご存じだと思います。経済学という学問はそれ以来250年にわたって発展してきました。この授業では、それぞれの時代の経済問題や経済環境の変化と苦闘する中で、経済学がどのように発展してきたかを学んでいきます。前期には、経済学が誕生してから、近代の経済発展や経済生活を分析する学問として確立していく過程を学びます。また、後期には、1930年以降の産業の巨大化や経済構造の激変のなかで、新しい経済理論がどのように作られ、また、精緻な科学としての地位を得ていったかを学習します。いわば、歴史を通じた現代経済学入門です。

証券経済学

この授業では、まず証券とは何かを簡単に説明します。特に株式や債券に焦点を当て、その種類、売買の仕組み、市場、市場関係者とその役割、各種指標等について解説します。また、直近の証券市場について話題となっている事項について企業の財務諸表や投資に関する統計データ、新聞や雑誌の記事などで確認しながら学んでいきます。財務諸表や会計制度などについても併せて解説します。授業中に紹介する参考文献やウェブサイトにも目を通すなど、授業で扱った事項に関して自ら積極的に情報収集し、考えることでより理解を深めることができます。

経済政策

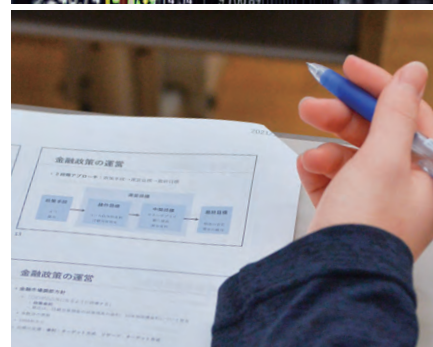
経済政策とは商品やサービスを巡る買い手と売り手による市場取引への介入と言えます。例えば、私たちがお店でコーヒーを買うとき、私たちはコーヒーの価格と消費税を支払い、お店は売上から消費税を納税します。経済政策の効果を分析する方法は、経済政策が人々の行動に与える影響や経済政策のあるべき姿を示す理論分析と、データを用いて理論分析の結果を検証する実証分析に大別されます。それらの基本的な考え方を著名な研究を引用しつつ説明します。

社会経済学

この授業では社会の諸問題、特に、人口、家族、情報、労働に関連する問題について学びます。授業の目標は二つ。一つ目は社会の諸問題に対する経済学的な考え方を理解すること。そして、二つ目はミクロ経済学やマクロ経済学で学んだ経済学の分析道具が社会問題の分析にどう使われるのかを学ぶことです。世界各国の社会問題を具体的に取り上げて実践的な授業としながら、経済学の基本的な考え方もしっかり学びます。

日本経済史

この授業では、江戸時代から戦後の高度成長期までの日本経済の歴史について学びます。日本の経済成長の過程と、その要因・背景が講義の中心となります。その際、1)産業・企業の具体的な発展過程のほか、2)各種指標に基づくマクロ的な経済状況の推移、3)財政政策・金融政策などの経済政策の果たした役割、などにも目を配ります。それによって、日本の経済の歴史について多面的に理解できるようになることを目標とします。



産業経済学科

地域イノベーションプログラムから

地域 イノベーション 演習A～G

地域やまちを再生、活性化していくためにはどのような政策や戦略が有効かの考察を「根拠(エビデンス)に基づく政策科学研究」として行います。これは、地域イノベーションプログラムが社会に提唱したいと考えている政策研究の手法です。授業では、考察対象の地域やまちの現場視察、調査の設計や実施、データ解析を行い、その結果に基づき地域やまちづくりの政策や戦略を議論します。また、地域やまちの再生、活性化ばかりでなく、ICTやスマートフォンなどのモバイルを導入したビジネス論や政策科学も学習します。

フィールド 研究 A～D

フィールド研究A,Bは実際にフィールドに出て、課題化、データ収集・解析、解決提案を行います。

まず学びをイメージすべく、先輩に過去事例を発表してもらいます。その後、関心別に5、6人のグループに分けます。グループで企画、調査設計を行い、実際にフィールド調査を行い、データを解析し、結果をプレゼンします。

フィールド研究C,Dは、A,Bの修了者を対象にした上級編。A,Bの成果を踏まえ研究を深めます。

本科目は演習形式で、企画や設計段階でもパワーポイントで発表することが特徴です。発表を通して、他グループと議論を重ね、自分たちの企画設計を見直し、より良い調査企画に高めていきます。

起業家育成プログラムから

九州経済論 A,B

企業で働くにしても、自治体で働くにしても、九州や日本の人口動態や社会・経済の変化予測といった長期的な見識が必要です。「人口減で日本は衰退」とマスコミは喧伝しますが、人口減は若者にとって逆に大きなチャンス。

なぜチャンスなのか、人口減と高齢者増をどのようにビジネスや自治体経営に生かすか、分析の基本となるデータをどこから収集するか等を学びます。

本学経済学部生は金融志望者が多いことと、卒業生の半分は九州内に就職していることが特徴です。この状況を踏まえ、地方銀行のこれらや地域経済の果たすべき役割も学びます。

また、外国人観光客を呼び込み地域を活性化する方法や地元商店街の再生、さらに、九州企業の海外進出する際のポイントなども学びます。



ゼミ紹介

経済学科

赤羽根ゼミ



A 四つの班に分かれて他大学と討論
B 他大学とのディベート後に班員で記念撮影
C 討論の様子

自主自律をモットーに！

〈研究テーマ〉 ミクロ経済学 / 契約理論

赤羽根 靖雅 准教授



スキーや長距離ドライブなどいろんなことをやってきましたが、今はお金がかからない自転車が趣味です。道具を使って速く移動するのが好きです。

先生が楽できるゼミが良いゼミです。

赤羽根ゼミは2年次生から4年次生まで3学年が在籍します。3年次生の活動が軸になり、他大学とのディベートを目標に1年間グループワークを行います。2年次生は準備段階で、グループワークを中心に経済学や経済問題への取り組み姿勢を学んでいく期間です。4年次生は3年次生の時の活動を土台に卒業論文を作成します。研究テーマは、全て学生自ら見つけます。もちろん、赤羽根は聞いて、意見を言って、ゴーサインを出すこともあれば、難色を示すこともあります。ただ、最終的には学生達が自分の責任で決定します。これは2年次生から4年次生まで一貫しています。テーマ選びで失敗して大変になることもありますが、それも経験。問題なしです。

こんな赤羽根ゼミの特徴はなんといっても、タテの繋がりを大切にすること。2限に3年次ゼミ、3限に2年次ゼミを行い、間の昼休みに合同ゼミを開いています。そこに4年次生も顔を出す形で交流するんです。4年次生は3年次生の時の経験を伝え、3年次生は2年次生を指導するし、活動報告もする。下級生に良い顔をしないとイケないので大変かも。2年次生は上級生の胸を借りるつもりで発表します。先輩の前で発表って緊張します



ゼミメンバーでの親睦会

よね。こうすることで、自らテーマを見つけ、考え、話し合う姿勢が上から下へ受け継がれ、伝統が形作られています。先生はというと…基本見守るだけ。タテ・ヨコの関係ができれば、やるべきことは学生が自発的にやってくれます。赤羽根は成果を聞いてそれにコメントする程度。楽そうですね。先生が楽できるということは、みんながきちんと活動しているということ。問題なしです。でも、、、何かあれば先生はビシビシと指導しますよ。怒ることもありますね。こんな感じの自主自律を大切にできるゼミ、それが赤羽根ゼミです。

産業経済学科

江口ゼミ



A ディベートの表彰式
B ゼミ中の何気ない一コマ
C ゼミでのプレゼンの様子
D 卒業式にて
E 秋吉台へ日帰り旅行



身近なところから着想を、データを駆使して科学する。

〈研究テーマ〉 環境・エネルギー経済学 / オペレーションズリサーチ

江口 昌伍 准教授



スパイスカレー作りが趣味で、家には20種類以上スパイスがあります。休日は糸島の海沿いをドライブしたり、ゴルフを楽しんでいます。

考える力を育てよう。

産業経済学科では、2年次生からゼミに所属できます。私のゼミでは、2年次には学生同士でのディベートを行います。私が大学生時代に所属していたゼミでは、毎年夏休みに他大学のゼミと合同でディベート大会を行っており、それが思考力やディスカッション能力を伸ばす良い訓練になった経験から、自分のゼミでも取り入れています。ディベートのお題としては、経済学に関連するものから、環境・エネルギー問題に関連するものまで幅広く扱います。毎回のディベートでは、賛成派と反対派に分かれてプレゼンと議論を行い、それを聞いた学生たちの投票により毎回勝敗を付けて優勝を争います。

3・4年次には、各自の興味に合わせて卒業論文を作成していきます。論文のテーマとしては特に制約は設けず、環境問題や地方の人口減少、あるいは、自分が卒業後にいきたい業界について分析する人もいれば、バイト先など身近なことから着想を得て分析を行う人もいます。過去にゼミに所属した学生の紹介をすると、その学生はアパレルの店舗でアルバイトをしており、将来はその店舗を運営する本社に就職したいという目標を持っていました。そこで、卒業論文としてその企業の



夏休みに福津の海岸で

財務データを読み解き、他のアパレルブランドと比較した際にどのような強みと弱みがあるのかを分析しました。店舗という現場も知っていて、なおかつ経営者の目線でも会社運営を考えられる人材は非常に魅力的ですね。その甲斐があったかは定かではありませんが、その学生は見事その企業に就職することができました。「理論や手法の習得だけでなく、現場も知る」ということは、私がゼミで大切にしていることの一つです。

経済学ってどんな学問？ — 特徴を二つ紹介

① インセンティブ＝意欲を重視

楽曲には著作権があり、他人の作った楽曲の利用には制限があります。なぜそのような制限があるのでしょうか？

それは、作曲者が十分な見返りを得られるようにするためです。もし一度発表された楽曲が誰でも自由に聴いたり流したりできしまうと、作曲者はそれを販売したりすることができず、作曲にかけた労力に対する見返りが得られません。結果として、作曲して世の中に発表しようという人はとても少なくなってしまうでしょう。著作権という仕組みがあることで、人々の「作曲しよう」という意欲・動機を生み出しているのです。

このような、人々の「〇〇しよう」「〇〇したい」という動機のことをインセンティブと呼びます。

税制改革や感染症対策でも、あるいはフリマアプリの設計やジェンダー格差の解消でも、はたまた楽市楽座やマニュファクチュアでも、社会の仕組みを考えるときには、経済学は、人々のインセンティブを考慮して評価・デザインします。仕組みが人々の行動をどのように変え、社会にどのような結果をもたらすかを考えるということです。

② エビデンス＝根拠を重視

例えば、少子化を食い止めるためには、「どうしたら子育て世代が子どもを産みたがるか」というインセンティブについて考えることになります。

ここで政府ができることは色々あります。例えば、

A 出産したときに補助金を出す

B 子育ての時間を確保できるよう育休制度を充実させる

C 子どもにかかる学習の費用を免除する

といったような対策です。どれも子どもを産むインセンティブを高めてくれそうです。しかし、財源は限られていますから、この中で、最もコストパフォーマンスの良い組み合わせを選ぶ必要があります。

そのために、経済学は、それぞれの対策がどれだけ出産を増やすかの効果をデータから測定・評価します。このようなデータに基づいた合理的な根拠をエビデンスと呼びます。そのために、どのようなデータを収集すべきか、それをどのように分析すべきかを経済学は教えてくれます。確かなエビデンスに基づいて、より良い仕組みを作るためのツールを備えた学問なのです。

経済学部Q&A

Q 「経済学」とはどんな学問ですか？

A 簡単に言うと、経済学は人間の行動を対象としている学問です。中でも人間の意思決定を分析することに重点を置いています。経済学は景気や失業、税金などいわゆる「経済」と言われるものを扱う学問でもあります。近年の学問の発展により、法律や都市開発、政治、心理、脳の働きなど、他の学問と重なる分野も分析の対象としている応用範囲の広い学問です。

Q 経済学部の人材養成の目的は何ですか？

A 経済学部では、経済学的知の伝承と創造により、社会の調和ある発展と人類の福祉の向上に貢献することを教育研究の理念とします。この理念に基づき、経済学における論理的思考力と実証的分析能力および歴史的理解力を向上させ、経済学的知性と豊かな人間性、国際的な視野、旺盛な行動力によって社会の進歩と繁栄に貢献できる人材を養成することを目的としています。

Q 経済学部と商学部の違いは何ですか？

A 両学部とも、社会の経済的な側面を学ぶことを学修の中心とする点で共通しています。そのうち、商学部では実務的な能力の習得に比重が置かれ、経営・会計・貿易などに関する科目が多く提供されています。一方、経済学部は社会の仕組みを理解する能力の習得に軸を置いています。政策や制度、組織や戦略を理解し、評価・デザインするスキルは、ビジネス・行政のさまざまな場面で生かされる能力です。こういった能力の発展を重視するところに経済学部の特徴があります。

Q 経済学科と産業経済学科の違いを教えてください。

A 経済学科では、経済学の理論の修得に力を入れ、修得した経済理論に基づき“生きた経済”を学習し、現代社会を強く確かに生き抜くための能力を身に付けます。産業経済学科では、調査・分析を重視し、実践のための経済理論と情報リテラシーを身に付けます。

Q 経済学部には、学外に出て行う授業もあるのでしょうか？

A 産業経済学科には、学生自らが街に出かけて調査をしたり、経営者にインタビューをしたりという授業があります。こうした活動を通して、理論のみにとどまらない理解や実践的な能力を身に付けることができます。調査や話し合いの成果はプレゼンテーションやディスカッションを通じて深められていきます。このような活動は、実社会での仕事にも直結する力を養うことにつながるでしょう。

Q 経済学を学びながら何か資格をとれますか？

A 経済学部では、バラエティーあふれる内容を学ぶことで幅広い視野を持ち、総合的に時代や社会を見る力を養います。税理士やファイナンシャル・プランナー、教員などの専門職を目指す学生を支援していますので、いろいろな資格試験にチャレンジしてみてください。

Q 経済学部の卒業後の進路はどうですか？

A 経済学部の卒業生は大学で学んだ知識を生かして多くの場で活躍しています。

企業	卸売・小売業、金融・保険業、運輸・通信業、サービス業、建設業など
専門職	税理士、公認会計士、行政書士、社会保険労務士など
官庁等専門職	国家公務員、地方公務員、独立行政法人や特殊法人等の職員
大学院進学	本学大学院、他大学の大学院



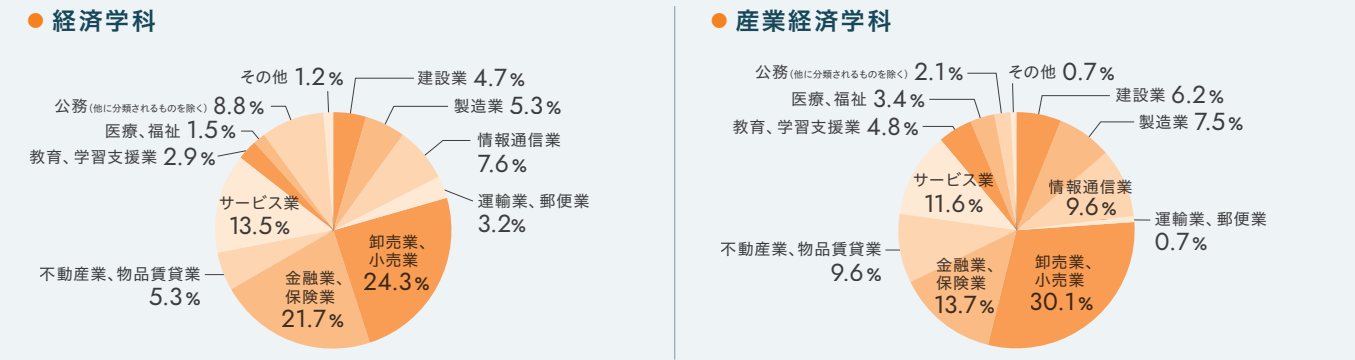
キャリア・就職について

本学部では、卒業後の将来を考えるための「キャリアデザイン」という科目を履修できるのが大きな特徴です。キャリアコンサルタントや実務家、キャリアデザインの専門家による講義やサポートで、個性や適性に合った進路を見つけることができます。

経済学部全体の就職率 (2024年度)

96.1%

業種別比率



主な就職・進路先 (2022年度～2024年度実績)

経済学部の主な就職先(企業名)はこちら



就職先
積水ハウス(株)
(株)九電工
TOPPAN(株)
旭化成(株)
YKK AP(株)
(株)三井ハイテック
九州電力(株)
西部ガス(株)
(株)NTTデータ九州
Sansan(株)
(株)ゼンリン
富士ソフト(株)
(株)西日本新聞社
(株)NTTドコモ
西日本鉄道(株)
西日本旅客鉄道(株)
住友商事九州(株)
野村證券(株)
損害保険ジャパン(株)
東京海上日動火災保険(株)
福岡県教員(中学校)
財務専門官
国税専門官
熊本県庁
福岡市役所

就職先
大和ハウス工業(株)
SMC(株)
東和薬品(株)
九州旅客鉄道(株)
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
TOTO(株)
NECフィールディング(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
(株)YE DIGITAL
九州旅客鉄道(株)
日本通運(株)
ENEOSグローブエナジー(株)
マルハニチロ(株)
(株)西日本シティ銀行
(株)三井住友銀行
楽天銀行(株)
明治安田生命保険(相)
住友不動産販売(株)
(株)電通九州
(株)JTB
熊本県教員(中学校)
九電産業(株)
国家公務員一般職
福岡県庁
鹿児島市役所

教員・研究の紹介

経済学部 に所属している教員をご紹介します。 ※2025年4月1日現在

詳しくは
福岡大学研究者情報 をCheck!



経済学科

■ 実践経済分析コース



近郷 匠 教授
専門分野 「理論経済学」

みんなで何かを決める方法・仕組みについて研究しています。例えば、みんなで協力して稼いだ儲けを不満が出ないように分けたり、集団内で一人一人の希望に応じて仕事をうまく分担するといった問題です。



藤本 浩明 教授
専門分野 「動学ゲーム理論」「統計的意思決定論」

経済学は、欧米の大学では、目的(ends)と希少な資源(scarce means)に関連する課題を学ぶ、科学です。そこで、ここでも、例えば、一次関数 $y=ax+b$ ：横軸の原因 x と縦軸の結果 y とに関連付けた、未解決な諸課題を、演繹的(to deduce)にも帰納的(to induce)にも分析・解決してゆく予定です。



赤羽根 靖雅 准教授
専門分野 「ミクロ経済学」「契約理論」

主な担当科目はミクロ経済学、情報経済学です。私の授業を受けると、基礎理論が学べます。金融理論や企業経済学、国際経済学など幅広い分野を理解する助けになりますよ。皆さん、ぜひ一緒に勉強しましょう。



秋本 清香 講師
専門分野 「マクロ経済学」

経済成長に関する研究を行っています。たとえば、これまで人間が行っていた仕事をロボットや人工知能が担うようになった場合、賃金や雇用、国の経済活動や経済成長率はどうなるのかなどを考察しています。



佐藤 伸 教授
専門分野 「理論経済学」

複数の意見、好み、判断を何らかの方法で集約して社会的に選択する場面は、経済政策の決定や家族で夏休みにどこに行くか等、多くあります。そのような場面における望ましい制度設計について研究しています。



玉田 桂子 教授
専門分野 「経済政策」

労働経済学という分野で、労働者の持つスキルと企業が要求するスキルの差が賃金に与える影響や、男女の不平等度や制度の違いが男女の学力差に与える影響などについてデータを用いて研究しています。



山崎 好裕 教授
専門分野 「理論経済学」「経済学史」「計量経済学」

東京大学で理論経済学と計量経済学を専攻し、博士号を取得しました。経済学の講義の他、いろいろなテーマで、講演・講座を日本全国、あるいは海外でも行っています。YouTubeチャンネル配信、新聞連載小説執筆もしてます。



田中 昌宏 准教授
専門分野 「ベイズ統計学」「機械学習」「計量経済学」

大規模なデータを分析するための統計学的手法について研究しています。特に、分析者の主観的な判断とデータの持つ情報を適切に組み合わせるためのツールや高速なアルゴリズムの開発に取り組んでいます。



■ 応用経済学コース



有岡 律子 教授
専門分野 「金融・会計制度」

環境変化のもとでの金融機関や企業の行動、規制の変更等を研究しています。最近は、人口減少下での地域金融機関のあり方に目を向けています。コロナ禍で始めた苔玉やスプラウトの栽培にも興味があります。



中村 由依 教授
専門分野 「経済政策」

発展途上国の貧困削減政策に関心があります。貧困に苦しむ人々を的確に見つけ出し、効率的に援助していくための政策は何か？彼らの賃金を上昇させるための最適な教育制度は何か？など多方面から研究しています。



西田 圭吾 准教授
専門分野 「理論経済学」
「応用経済学」

経済格差と経済成長の関係について研究しています。具体的には、金融市場の発展が所得分配に与える効果や、所得分配と選挙で選ばれる経済政策の関係に着目し、それらと経済成長との相互作用について分析しています。



森田 薫夫 准教授
専門分野 「財政・公共経済」
「経済政策」

「社会的に望ましい租税はどう特徴付けられるか」が研究テーマです。例えば、高所得者への課税は公平ですが、経済活動を縮小させるかもしれません。このようなトレードオフを考慮した租税の在り方に興味があります。



井手 豊也 教授
専門分野 「貿易理論」

貿易理論の研究を専門に行っています。簡単なモデルを用いて、各国がどのような要因で財を輸出し合うのか(比較優位)、また、関税等の貿易政策がもたらす影響について研究を行っています。



恩田 正行 准教授
専門分野 「労働経済学」

私の専門は、労働経済学です。労働経済学とは、労働者や企業などの経済主体の行動を、理論と実証で分析する学問です。私は、政府、自治体、そして企業が保有する個票記録を用いた実証分析をしています。



野澤 亘 准教授
専門分野 「金融・ファイナンス」

私の専門は金融です。金融の役割は、必要とところに資金を融通することです。そのための仕組みとして、株式や債券、銀行や保険、ベンチャーキャピタルやヘッジファンドがあります。これらの仕組みが実際にどのような役割を果たしているか、ということに興味を持って研究しています。



山下 耕治 准教授
専門分野 「地方財政論」

政府は、どのような行政サービスを家計や企業に提供すべきだろうか、また、その行政サービスは、国と地方(県・市町村)のどちらに任せた方がうまく行くのかを研究しています。研究の目的は、地域の活性化や街の魅力を高めることに貢献することです。

■ 社会経済学コース



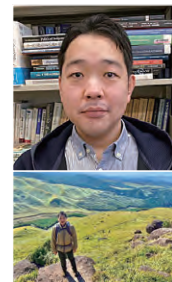
姜 文源 教授
専門分野 「経済理論」「経済政策」

私が担当する科目は、「国際経済学概論」といいます。国際経済学の基本的な理論を学んだ後、17世紀以降の世界貿易の歴史、制度的変化、近年の世界経済の動向などを勉強しています。とくに、東アジアの経済、社会、文化に興味を持っている学生はこの授業で楽しく学べると思います。



辰己 佳寿子 教授
専門分野 「地域社会論」

経済的な視点はもとより、社会・文化的な視点も加えた村落研究を行っています。国内外の農山漁村のフィールドワークを通して、多様で豊かな生き方が可能となる地域社会のあり方を模索しています。



武井 敬亮 准教授
専門分野 「社会思想史」

私の専門とする社会思想史は、過去の思想家が直面していた問題やその解決策を歴史的・思想的に分析する点に特徴があります。最近では17世紀後半以降の世俗化のプロセス(啓蒙思想)について研究を行っています。



西村 道也 講師
専門分野 「西洋経済史」

前近代のビザンツ帝国(東ローマ帝国)の経済が専門です。主な担当科目は「西洋経済史」です。「経済史」は経済問題を歴史的に考える分野で、「西洋経済史」は西洋(ヨーロッパとアメリカ)という空間を扱います。



瀬戸林 政孝 教授
専門分野 「経済史」

アジア経済史では、我々を取り巻くアジアの経済がどのように発展してきたのかについて見ていきます。数百年間にわたるアジア地域の経済的な変化や特徴について学び、現在、成長著しいアジアの経済が発展した理由について一緒に考えてみませんか。



万 軍民 教授
専門分野 「マクロ経済学」「金融学」
「公共経済学」「経済発展」
「米中日経済」

バブルや不況原因を家計の投機的貯蓄、企業の過剰投資、銀行の不良債権、財政と金融政策の失策から研究し、米中貿易戦、インバウンド需要とコロナ禍、キャッシュレスでの徴税も探求し、安定的かつ効率的な経済社会の在り方を探っています。



村松 怜 准教授
専門分野 「財政史」

日本の財政・税制の歴史について研究を行っています。日本は税の規模が小さく、課税への抵抗が強い国ですが、人々がもっと快く納税を行っているような国もあります。そのような違いの要因を探りたいと考えています。



■ 起業家育成プログラム



小島 直樹 教授
専門分野 「ファイナンス」
「ミクロ経済学」

私個人は、ファイナンスとミクロ的な視点からの研究をいろいろな分野でしています。現在の経済学は社会経済政治のあらゆる分野が研究対象ですので、必ず皆さんの好みの分野が見つかります。是非とも勉強してください。



西原 宏 教授
専門分野 「ゲーム理論」

専門は、ゲーム理論です。「ゲーム」というと何かの遊びを連想するかもしれませんが、まじめな研究分野です。人々が競争したり協調したりできる状況において、人々の合理的行動は何かを理論的に探求する分野です。



渡邊 淳一 教授
専門分野 「理論経済学」

人の“価値”（例えば、プロのサッカー選手や野球選手の年俸など）を測ってみましょう。難しいのは、その人の“価値”というものは（他球団を含めて）周りにどのような人がいるかで変わるということです。さて、どうやって測りましょうか。



岡 祐輔 准教授
専門分野 「地域経済学」
「地域政策」

地方創生に役立てるための地域政策を研究しています。例えば、そのまちにあった観光や地域ブランドなどを成功させる方法を考え、「この方法を使えば、地域経済を元気にできるのか」といった問題です。



■ 地域イノベーションプログラム



五十嵐 寧史 教授
専門分野 「情報システム学」
「人文地理学」

市役所における情報化を分析、導入がすすむ要因は人口の流入超過だったと明らかに。最近は暗号通貨、ブロックチェーンに興味があります。なぜ貨幣は存在すべきなのか、暗号通貨が安全保障と両立するかを考えています。



梶井 昌邦 教授
専門分野 「地域科学」
「データマイニング」

データや事実といった根拠に基づく、街づくり政策や店舗戦略の分析・提案に関心を持っています。そのために、調査を企画・実施するとともに、統計的手法やデータサイエンス手法の開発を行っています。



李明哲 教授
専門分野 「交通工学」

「オペレーションズ・リサーチ(OR)」は最適化の視点にたった、「問題解決・改善の手法」の学問です。私はORという学問を用いて、都市や社会のさまざまな問題、特に交通問題の解決・改善に努めています。



江口 昌伍 准教授
専門分野 「環境経済学」
「環境システム学」

再エネや環境分野での、企業の生産活動の効率性や製品の技術評価に関する研究をしています。最近では、より少ない努力で効率性を効果的に向上させる企業戦略の提案や、非効率性の原因の見える化に力を入れています。



柳 永珍 准教授
専門分野 「文化経済学」
「地域分析」

地域における人口流入、定住意思に影響を与える社会・経済的な要因について社会調査を活用したデータで、当事者の認識や心理、態度を中心に分析を行っています。特に、文化施設や地域の楽しさという要素に注目しています。



熊谷 惇也 講師
専門分野 「データサイエンス」

データサイエンスの手法を応用して、鉄道や交通インフラの発展による効果や、混雑が人々に与える影響などを研究しています。アンケートや地理情報システム(GIS)を用いてデータを集め、分析を行っています。

🔍 暮らしの中にある経済学

Column by
近郷 匠 教授

世の中(社会)を理解しよう。

経済学はお金の流れについて学ぶだけの学問ではありません。理論、実証、歴史、思想などさまざまな視点から人々が暮らす社会(の仕組み)を理解する、それが経済学です。

経済学を選択するメリット

我々の社会(の仕組み)を理解することは、皆さんの卒業後の進路がどんなものでも必ず役立ちます。ですから、将来の目的がまだはっきりしていない人にも、経済学はお勧めです。また、計算、データ処理、資料の解釈などさまざまな方法が用いられますので、皆さん一人一人が自分の得意なことを生かします。



身近な出来事を経済学の視点で見るとどうなる？

TOPIC 1

SNSでバズった「ポテサラ問題」と自由主義のパラドックス

スーパーの総菜コーナーでポテトサラダを手に入っていた幼児連れの女性に、「母親ならポテトサラダくらい作ったらどうだ」と言った高齢男性を目撃したというSNSへの投稿。もし皆さんがこの現場に居合わせたら、何を感じ、何を考えるでしょうか。この問題は「自由」と「効率」のどちらも重視しながら社会のみんなの意見を一つにまとめることの難しさを明らかにした「自由主義のパラドックス」を学ぶと、その理解が深まります。



TOPIC 2

みんなで奪い合いだけど、仲良く分けないともらえない

2人の子どもが仲良く分けるように渡されたおやつ。奪い合いからけんかへ発展。その結果、おやつを没収される。大人も同じで、みんなが得できる共同プロジェクトがまとまらず、結果としてみんなが損をする。こういった失敗の原因は必ずしも感情的なものとは限りません。人間の行動への理解を深め、「分ける人と選ぶ人を別にする」といったように仕組みを工夫することによって、失敗を避けることができます。

